

第12回市民公開講座 開催報告



山口大学医学部附属病院
腫瘍センター事務局

令和6年9月8日(日)に、山口大学医学部附属病院腫瘍センター主催で、第12回市民公開講座『大腸がん和乳がん』が、山口市のKDDI 維新ホールメインホールで開催され、一般市民141名の参加がありました。

本院腫瘍センターの井岡准教授とFM きららの岡崎さんの総合司会のもと、本院腫瘍センターの永野教授の開会挨拶後、医師・薬剤師・看護師のそれぞれの立場から、大腸がん和乳がんについて6つの講演が行われました。

プログラム

1.『大腸がん検診のすすめと様々な内視鏡治療』	浜辺 功一先生
2.『大腸がん挑む：術前補助化学療法と手術の連携』	友近 忍先生
3.『がん治療における薬剤師の役割』	岡野 智史先生
4.『薬物治療中の日々の過ごし方』	沖村 美香先生
5.『正しく知ろう 乳がんのこと・検診のこと』	周山 理紗先生
6.『あなたに合った乳がん治療を見つけよう！ ～最新治療と個別化医療の最前線～』	前田 訓子先生

各分野の先生方の講演に熱心に耳を傾ける様子が見受けられ、質疑応答ではたくさんの質問が出て、参加者の真剣さや意欲の高さを感じとることが出来ました。参加者からは、「早期発見・早期治療の必要性、再発防止の認識を改めて共感することができました。」「専門用語など分かりやすく説明しながらの講座で非常に良かったです。」「実際に病院で受けられる最新の治療法などについては今後も情報発信をして欲しいし、予防（一般的なことではなく新しく分かったことなど）についても取り上げて欲しい。」「普段なら知り得ない情報を学ぶことができ大変良かったです。すべての質問に答えてくださって本当に熱意が伝わりました。」「市民公開講座を続けていって欲しい。」など、たくさんの感想をいただきました。

腫瘍センターでは、今後も市民公開講座を開催する予定ですので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

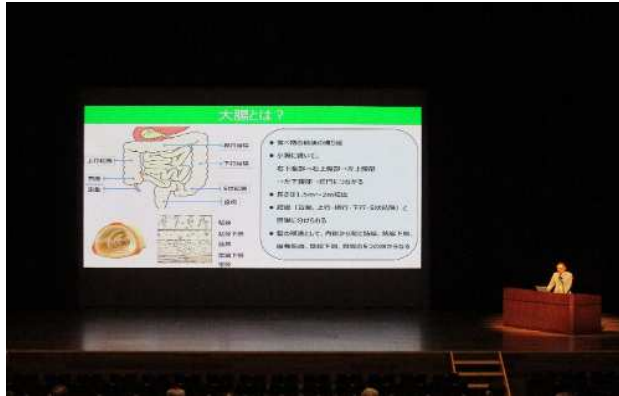
《ポスター》



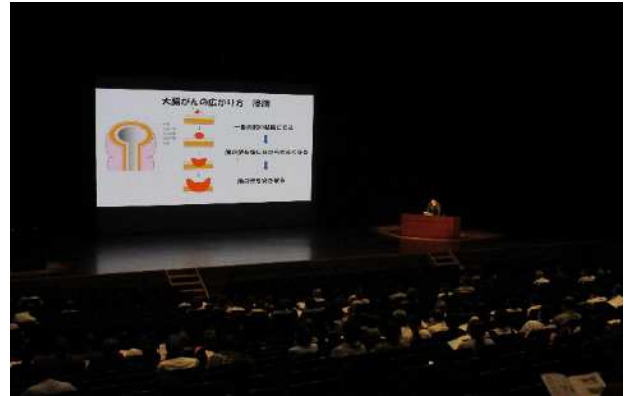
《開会挨拶》



《講演 1》



《講演 2》



《講演 3》



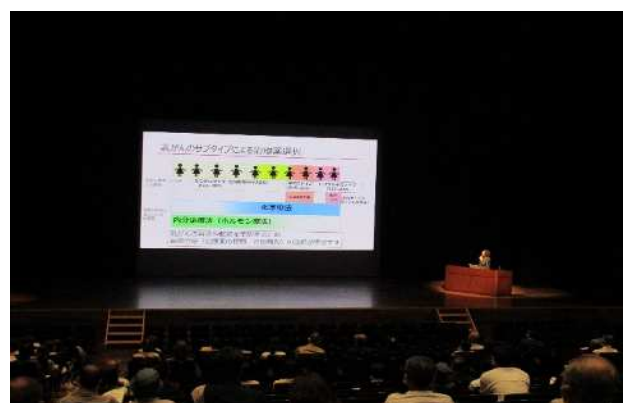
《講演 4》



《講演 5》



《講演 6》



《質疑応答》



《質疑応答》

